



第5講 「そば打ち体験教室」活動報告

11月25日(土)、26日(日)に、聖台公民館で聖台手打ちそば研究会の皆さんのご指導のもと、「そば打ち体験教室」を実施しました。25日(土)には16名、26日(日)には13名の参加者がありました。活動の様子を報告します。



熊谷会長さんに歓迎のあいさつをいただいた後、研究会の皆さんの丁寧な指導のもと、子どもたちは真剣な表情、手つきでそば打ちを始めました。細心の注意をはらわなければならない水回し、少しずつ練り上げ、徐々に大きく団子状にしていく技術はとても繊細でした。その後、麺棒で伸ばしていく作業に移りましたが、これまた丁寧に伸ばさないと破れてしまいます。子どもたちは、いつもと違う真剣な眼差しで行っていました。最後は、いよいよ切る作業です。持ったことのないそば切り包丁にびくびくしながら、ゆっくり切り始めました。そばの押さえをゆっくりずらさないと、太くなってしまいます。そばの太さに気を付けながら集中して切っていました。終わった子たちは、出来上がったそばを見てうれしそうでした。それと同時に「疲れたー！」と声を上げていました。子どもたちが持ち帰ったそばの味は、いかがでしたか。子どもたちの苦労がつまった格別な味だったと思います。日本の伝統を子どもたちに伝えてくださった手打ちそば研究会の皆様のご協力に感謝します。



昼食は、用意していただいたもりそばを食べました。「おいしい!」「まだまだ食べられる」と、おかわりする子どもばかりで、どの子どももおなか一杯に食べ、とても満足そうでした。

